

指導事例 1

春日野の姉妹（伊勢物語）

1 単元について

「春日野の姉妹」は、中世の風習・生活習慣の中の物語ではあるが、現代に生きる生徒にも共感できる内容の物語である。本単元では、物語を深く味わわせ、古典に親しむ態度を養うために、本話を理解する上で重要とみなされる事項を調べたり、読みを深めたりする活動を取り入れる。また、歌物語の中で和歌の果たす効果や、歌物語の特徴を理解させる指導を行う。

2 単元の指導目標

- (1)漢字や歴史的仮名遣いの読み、基本的な語句の意味、和歌の修辞法等を理解させる。
- (2)登場人物の心情を読み取り、物語の内容を理解させる。
- (3)時代背景や物語の背景を理解させる。
- (4)作品を読み味わい、古典に親しませる。

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
古文の内容を的確に読み取ったり、当時の人々が和歌をどのように活用していたかを考えたりして、古典に親しもうとしている。	漢字・歴史的仮名遣いの読みを理解して音読している。 語句に即して本文の内容のあらましを読み取っている。 古文に描かれた人物の心情を踏まえ、話全体の流れを把握している。	漢字や歴史的仮名遣いの読みを理解している。 語句の意味用法や和歌の修辞法を理解し、語彙を豊かにしている。

次	時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における評価規準と評価方法
一	1	<p>音読による読みの定着</p> <p>教師による「春日野の姉妹」の範読を、漢字・歴史的仮名遣いの読みに注意しながら聞く。</p> <p>教師に続いて、一文ずつ一斉読みを行う。</p> <p>全員起立し、三回音読した者から着席する。</p> <p>指名により、二人で交互読みする。</p> <p>漢字や歴史的仮名遣いの読みの確認のため、小テスト(資料1)を受ける。</p> <p>自己評価を行う。</p> <p>本文をノートに写す。</p>	<p>シラバスで本単元の学習の目標と活動を確認する。</p> <p>注意する漢字や歴史的仮名遣いの読みを、教科書に書き込ませる。</p> <p>全体が音読できているか確認しつつ読ませる。</p> <p>教員自身も音読しながら、机間指導を行う。</p> <p>練習の様子を参考にして二名を指名し、一文ごとに交互に音読させる。</p> <p>教科書、ノートを閉じさせ読みの確認テストを行う。</p> <p>* つまづきを確認して助言を与えながら学習プリントで復習させる。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>漢字・歴史的仮名遣いの読みを積極的に身に付けようとしている。</p> <p>(自己評価票資料1)・観察)</p> <p>知識・理解</p> <p>漢字・歴史的仮名遣いを正しく理解している。</p> <p>(小テスト資料1)</p>
二	2 3	<p>内容理解</p> <p>指名により音読する。</p> <p>脚註・古語辞典を使って逐語訳を行い、ノートを整理する。</p> <p>序詞を理解する。</p> <p>口語訳中心の小テスト(資料2)を受ける。</p> <p>自己評価を行う。</p>	<p>前時の小テスト・自己評価票に口答で助言を添えて返却する。</p> <p>本時の目標と活動を説明して確認させる。</p> <p>脚註と古語辞典を使って本文を現代語訳させる。</p> <p>「序詞」などの言葉の持つ面白さに関心を持たせる。</p> <p>* つまづきを確認して助言を与えながら学習プリントで復習させる。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>脚註や辞書を手掛かりに、内容理解に努めようとしている。</p> <p>(自己評価票資料2)・観察)</p> <p>知識・理解</p> <p>脚註と辞書を活用し、古語の意味や序詞を理解している。</p> <p>(小テスト資料2)</p>
三	4	<p>全体内容把握</p> <p>指名により音読する。</p> <p>全体の内容理解のため、ワークシート(資料4)により、物語の各場面を描いた6枚の絵を、本話の内容に沿って並べ替え、本文を書き添える。</p> <p>指名により発表させる。</p> <p>自己評価を行う。</p>	<p>前時の小テスト・自己評価票に口答で助言を添えて返却する。</p> <p>本時の目標と活動を説明して確認させる。</p> <p>本文に沿って並べ替え、絵に該当する本文を書き添えさせる。</p> <p>発表させた後、回収する。</p> <p>* 助言により本文を一文ずつ区切って考えさせる。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>全体の流れを理解して、読み味わおうとしている。</p> <p>(自己評価資料3)・観察)</p> <p>読む能力</p> <p>物語の展開を把握して本文を書き添えている。</p> <p>(ワークシート資料4)</p>

次	時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における評価規準と評価方法
四	5 6	<p>調べ学習</p> <p>文中の古典に関する語句を、『百科事典』『国史大辞典』やインターネットを使って調べる。調べたことを発表する。自己評価を行う。</p>	<p>前時の自己評価に口答で助言を添えて返却する。</p> <p>本時の目標と活動を説明して確認させる。</p> <p>生徒に主体的に班分けさせる。</p> <p>「初冠」「平城京」「春日の里」「狩衣」「信夫摺り」の項目を、各班に選ばせる。</p> <p>下書き用ワークシートに書かせた後、発表用ワークシートに清書させる。</p> <p>* 資料の提示や助言をする。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>与えられた項目を多岐に渡って調べようとしている。 (自己評価資料3・観察)</p> <p>読む能力</p> <p>発表するために、辞典・インターネットを利用し時代背景・風習などを読みとっている。 (ワークシート資料5)</p>
五	7	<p>本話の題名をつける</p> <p>題名に込められた意図に関して教師の説明を聞く。</p> <p>「春日野の姉妹」以外の題名を考えて紙に書く。一人ずつ自分のつけた題名を読み上げ、板書する。投票により一番良いものを選ぶ。選ばれた生徒は題名について解説する。教師のコメントを聞く。</p>	<p>前時の自己評価に助言を書き添えて返却する。</p> <p>本時の目標と活動を説明して確認させる。</p> <p>思い付いた紙に書き、その中から自分が一番良いと思うものを発表させる。</p> <p>板書されたものの中から良いと思われるものを選んで投票させ、上位数点を選出する。</p> <p>選出された題名を考えた生徒に題名についてを解説させる。</p> <p>選ばれたものや、その他の題名に関してコメントする。</p> <p>* 助言により文中から根拠を探させる。</p>	<p>関心・意欲・態度</p> <p>本文を読み味わい、内容を効果的に表す題名を考えようとしている。</p> <p>読む能力</p> <p>古文に描かれた人物の心情を踏まえ、話全体の流れを把握している。 (ワークシート資料6・自己評価資料3・観察)</p>

5 成果と課題

(1) 成果

指導法の改善

古典に親しませるという指導目標を達成するために、第4時で絵を取り入れた指導や、第7時で「読書へのアニメーション」(作戦11「これが私のつけた書名」)を活用した指導を行ったことにより、訳読中心の指導からの改善を図った。生徒は学習活動毎に明確な目標を持つことができ、その実現のために主体的に学習に取り組んだ。

生徒の学習に取り組む態度の改善

課題を持って調べる活動を取り入れたことで、学習活動の目標や内容が具体的になり、生徒が主体的に学ぶようになった。また、絵や「読書へのアニメーション」等を取り入れた学習場面では、生徒はより意欲的に学習に取り組むようになった。

評価規準を生かした形成的評価による語句の読みの定着

「知識・理解」の評価規準である「漢字、歴史的仮名遣いを正しく理解している」状況に導く指導を行った。第1時「音読による読みの定着」で、目標の確認、音読の指導、読みの評価(資料1)という流れで、基礎的な読みの定着を図った。第二次でも読みの評価(資料2)を繰り返した。さらに定期テスト前にも小テスト等での復習を促した。これらの指導の結果、評価規準に対して、概ね満足と判断できる状況が達成できた。

第2学期中間試験から

問題(解答)	正答率
初冠(ういこうぶり)	77.8%
往に(いに)	61.1%
垣間見(かいまみ)	77.8%
思ほへず(おもおえず)	66.7%
狩衣(かりぎぬ)	83.3%
裾(すそ)	72.2%
信夫摺り(しのぶずり)	66.7%
春日野(かすがの)	88.9%
ゆゑに(ゆえに)	83.3%

(2) 課題

指導計画及び評価計画の見直し

「知識・理解」の評価規準、「語句の意味用法や和歌の修辞法を理解し、語彙を豊かにしている」ことの達成状況は充分ではなかった。特に「序詞」を理解させることに関しては、なお指導の工夫が必要である。また、歴史的仮名遣いを1箇所含む「ゆゑに」(83.3%)や、2箇所含む「思ほへず」(66.7%)が示すように、基本的な歴史的仮名遣いの読みの指導の必要性が改めて浮き彫りになった。このような点に関して今後の指導計画や評価計画を見直す必要がある。

評価の方法、場面、時期の工夫

生徒の自己評価は、その結果を教師が把握して指導の改善に生かすだけでなく、生徒に助言や励ましとしてフィードバックすることによって、生徒自身の学習意欲を高めるためにも生かされることが大切である。本単元では、全7時間のうちに自己評価の場면을5回設けたが、生徒へのフィードバックによる自己評価の活用が不十分になってしまった。無理なく評価を行うためには、効果的な評価の場面や時期を工夫し重点化したうえで設定する必要がある。また、自由記述式の自己評価や、生徒同士で良い点を認め合うような相互評価(資料7)などの工夫も大切であろう。

参考文献

- ・M・M・サルト 『読書へのアニメーション75の作戦』 柏書房
- ・コミグラフィック 日本の古典3 『伊勢物語』 暁教育図書株式会社

資料1

春日野の姉妹 伊勢物語 () () 年 () () 組 () () 番氏名 ()

問題 傍線部の漢字と歴史的仮名遣いの読みを、() () () の中に記しなさい。

昔、男、初冠して、平城の京、春日の里にしるよしして、狩りに往にけり。その里に、いとなまめいたる女はらから住みけり。この男、垣間見てけり。思ほえずふるさとに、いとはしたなくてありければ、心地惑ひにけり。男の着たりける狩衣の裾を切りて、歌を書きてやる。その男、信夫摺りの狩衣をなむ着たりける。

春日野の若紫のすり衣しのぶの乱れ限り知られず
 となむ追ひつきて言ひやりける。ついでおもしるきことともや思ひけむ。

みちのくのしのぶもぢずりたれゆゑに
 乱れそめにし我ならなくに

といふ歌の心ばへなり。昔人は、かくいちはやきみやびをなむしける。

【自己評価】
 A 強く思う
 B 大体そう思う
 C 思わない

授業に遅れずに参加した。

教科書・ノートをそろえ、授業に臨んだ。

漢字の読みが理解できた。

歴史的仮名遣いの読みが理解できた。

授業中声を出して読もうとした。

先生の説明をよく聞いて理解に努めた。

授業の内容がわかった。

資料2

春日野の姉妹 伊勢物語 () () 年 () () 組 () () 番氏名 ()

昔、男、ア初冠して、イ平城の京、春日の里にあしるよしして、狩りに往にけり。その里に、いとなまめいたる女はらから住みけり。この男、ウ垣間見てけり。思ほえずふるさとに、いとはしたなくてありければ、心地惑ひにけり。男の着たりけるエ狩衣の裾を切りて、歌を書きてやる。その男、オ信夫摺りの狩衣をなむ着たりける。

A 春日野の若紫のすり衣しのぶの乱れ限り知られず

となむ追ひつきて言ひやりける。ついでおもしるきことともや思ひけむ。

みちのくのしのぶもぢずりたれゆゑに乱れそめにし我ならなくに
 といふ歌のd心ばへなり。昔人は、かくいちはeきみやびをなむしける。

問一 傍線部ア～オの読みを現代仮名遣いで答えなさい。

ア () イ () ウ ()

問二 傍線部 a～e の現代語訳を答えなさい。

a () b ()
 c () d ()
 e ()

問三 傍線部・の動作の主体を本文中の語を使って答えなさい。

問四 次の文はAの和歌の序詞について説明した文である。() () () にあてはまる語句を和歌の中から抜き出しなさい。

序詞とは、和歌の修辭法の一つで、ある語句を引き出すための前置きのことばである。Aの和歌については、「しのぶの乱れ限り知られず」の部分に和歌の主題があり、「ア」() () を引き出すための序詞が、「イ」() () である。

【自己評価】よくできた=A だいたいよくできた=B あまりよくできなかった=C

教科書・ノートを準備して授業に臨んだ。

漢字の読みが理解できた。

積極的に授業に参加しようとした。

現代語訳ができた。

序詞が理解できた。

話全体の内容を理解できた。

自己評価票 1

資料3

年 組 番 氏名					
1	授業に遅れずに参加した。	A	B	C	D
2	教科書・ノートをそろえて授業に臨んだ。	A	B	C	D
3	絵と本文の対応を理解しようと努めた。	A	B	C	D
4	物語の展開を把握して、本文を書き添えた。	A	B	C	D
5	先生の説明を良く聞いて理解に努めた。	A	B	C	D
6	発問に対し、自分で考えようとした。	A	B	C	D
7	絵によって内容の理解が深まった。	A	B	C	D
8	物語に親しみが持てた。	A	B	C	D
本時間の感想					

A = あてはまる B = 大体あてはまる C = あまりあてはまらない D = あてはまらない

自己評価票 2

年 組 番 氏名					
1	授業に遅れずに参加した。	A	B	C	D
2	教科書・ノートをそろえて授業に臨んだ。	A	B	C	D
3	積極的に図書で調べた。	A	B	C	D
4	積極的にインターネットで調べた。	A	B	C	D
5	友達の意見を良く聞いて理解に努めた。	A	B	C	D
6	内容を自分で考えようとした。	A	B	C	D
7	メモをしっかりと取った。	A	B	C	D
8	調べた内容がわかった。	A	B	C	D
本時間の感想					

A = あてはまる B = 大体あてはまる C = あまりあてはまらない D = あてはまらない

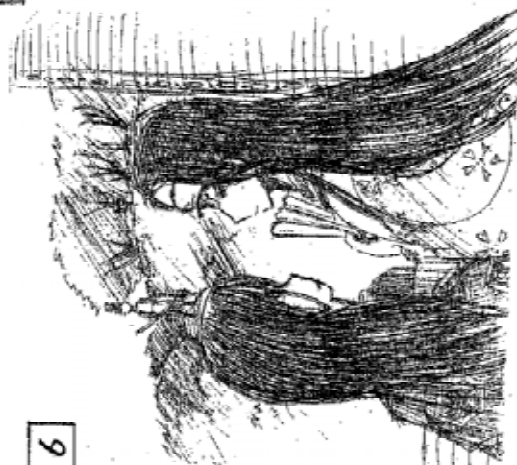
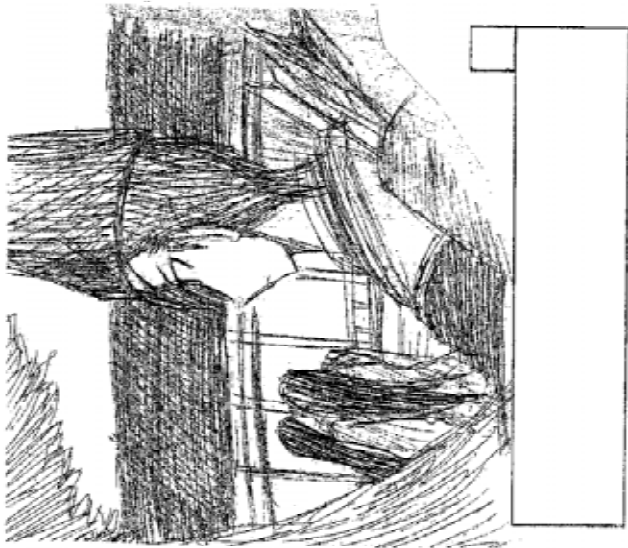
自己評価票 3

年 組 番 氏名					
1	授業に遅れずに参加した。	A	B	C	D
2	教科書・ノートをそろえて授業に臨んだ。	A	B	C	D
3	先生の説明を良く聞いて理解に努めた。	A	B	C	D
4	積極的に題名を考えた。	A	B	C	D
5	他者の考えた題名とその説明を聞いて考えが深まった。	A	B	C	D
6	「春日野の姉妹」を読み味わえた。	A	B	C	D
本時間の感想					

A = あてはまる B = 大体あてはまる C = あまりあてはまらない D = あてはまらない

* 本来の「関心・意欲・態度」を見る自己評価は、「国語への関心・意欲・態度」のことであるから、学習活動の内容に関して評価するものである。従って、資料3・4・5の自己評価票の、それぞれ3番以下について問うのが一般的であり、大切なことである。ここでは、生徒の実態に合わせて、授業を受ける心構えも生徒に意識させた。

次の六つの絵は、「春日野の姉妹」の内容を六つに分けて描いたものです。それぞれの空欄に2、5の番号と、教科書の本文を書きなさい。



資料5

調べてみよう！

() () 班 班員

調査項目

調べた内容
本・辞書類から(出典も記す)

インターネット(アドレスも記す)

資料6

() () 年 () () 組 () () 番 氏名 ()

「春日野の姉妹」以外の題名を付けるとしたら、どのような題名を付けますか。題名とその理由を簡潔に書きなさい。

題名

理由

資料7

相互評価の例

相互評価票 () () 年 () () 組 () () 番 氏名 ()

板書された題名の中で、あなたが一番良いと思う題名と、その理由を書きなさい。

題名

理由